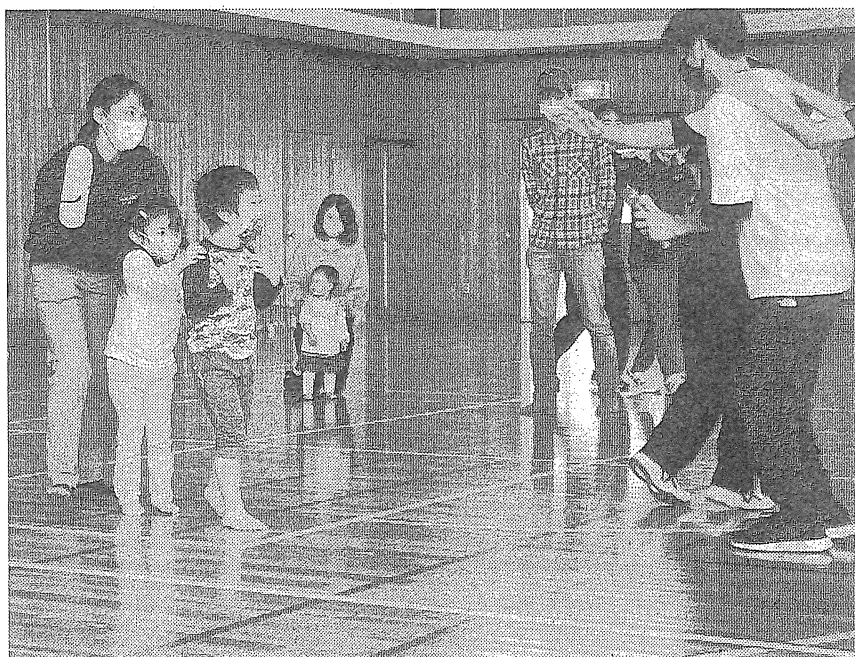


# 令和4年11月15日(火)奈良新聞より抜粋

## 親子で楽しむ場 学生ら企画考案

奈良佐保短大「あそびのひろば」



学生らとリズム体操で遊ぶ子どもたち＝12日、奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学

奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学(池内ますみ学長)は12日、地域の親子が楽しむ遊びの場を提供する「あそびのひろば」を開催した。地域こども学科で学び、小学校・幼稚園教諭や保育士などを目指す学生らが企画し、子どもたちと触れあった。

同学科のゼミナル活動の一環。午前と午後の部に分かれ、未就学児とその保護者計73組が参加した。同校キャンパス内に四つの「広場」を用意した。

「おはなしのひろば」では、絵本の読み聞かせやエプロンを使った人形劇などを実施。ダンボール迷路や手づくりおもちゃで遊ぶひろば、マラカスを作ったり、リズムあそびをするひろば、跳び箱や平均台などを使ってサーキット遊びをしたり、リズム体操をするひろばもあった。

同学科長の勝田麻津子教授は「普段の授業では身に付かない、企画力や地域との連携、子どもとのふれあいや保護者との関わり方と

いった実践的な学びの場になれば」と、学生側の教育的効果を話した。